

Programming Boot Camp

ノーコード開発とは

東京科学大学 2025/10/25

Naotake KYOGOKU

目次

- ノーコード開発とは
- ノーコード開発のメリット、デメリット
- なぜノーコード開発をするのか
- ノーコード開発ツールにはどのようなものがあるか
- Programming Boot Camp で扱うノーコード開発ツールの紹介

ノーコード開発とは

ノーコード開発とは、プログラミング言語でコードを書くことをせずにアプリやWebサービスの開発をすることです。

プログラミング言語でコードを書く従来のアプリ開発(スクラッチ開発)と比較して、ノーコード開発では、短時間でアプリを開発できる場合が多いです。

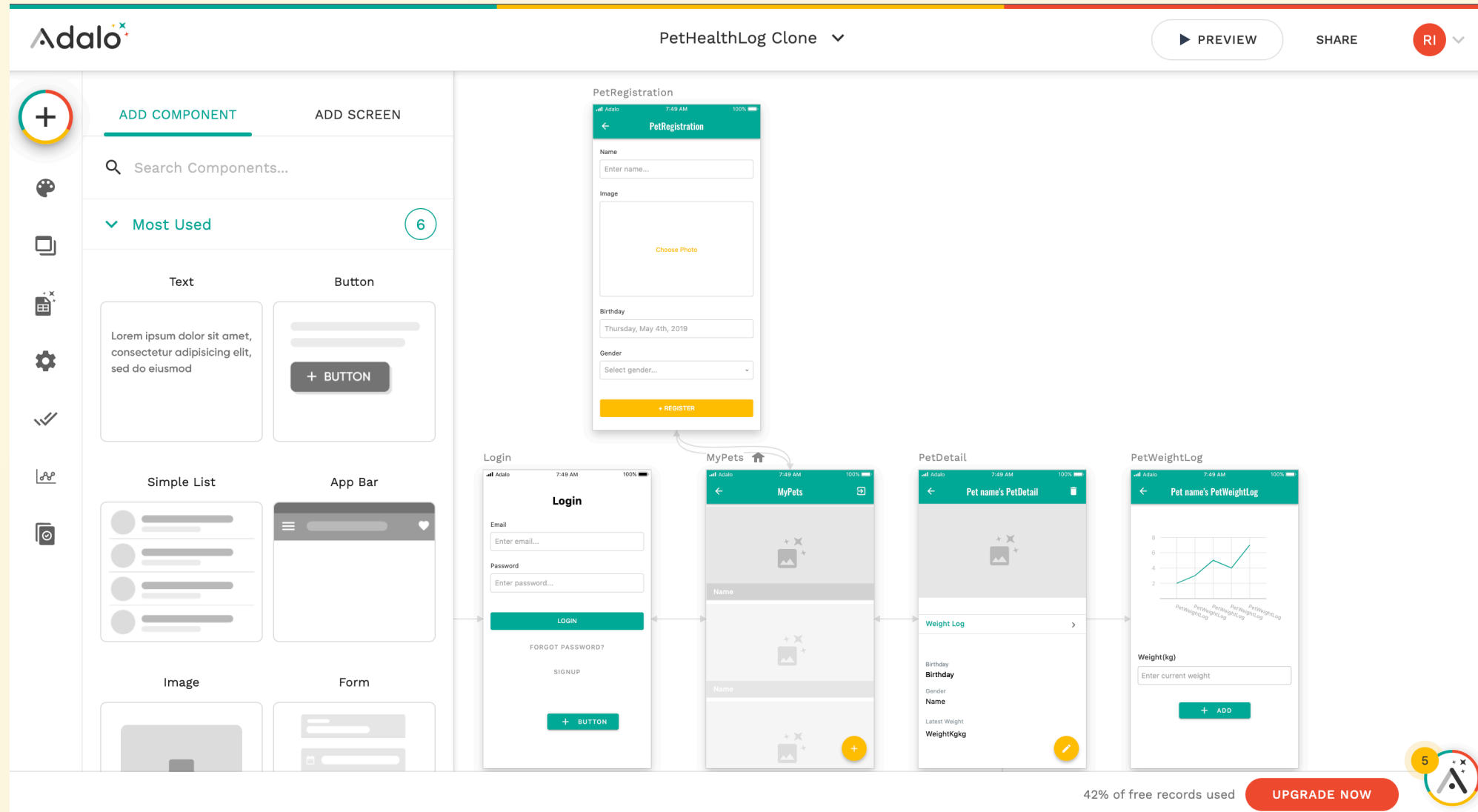
プログラミングの知識を持つエンジニアでなくても、ノーコード開発であれば、アプリをつくることが可能になります。

ノーコード開発を行うためのツールは数多く提供されています。

それぞれに特徴は異なりますが、共通して、イメージ通りのアプリをコードを書かずに簡単に開発できるような工夫がされています。すでに完成したパーツをドラッグ&ドロップで組み合わせて画面をつくるようなツールも多く、直感的にアプリを開発できます。

また、多くのノーコード開発ツールでは、開発したアプリを実行する環境も整っているため、修正した後はすぐに動作を確認して、トライアンドエラーを素早く繰り返しながら、迅速に開発を進めることができます。

参考: Adaloの画面イメージ



ノーコード開発のメリット、デメリット

メリット

- プログラミングの知識が必要ない
- エンジニアに発注する費用がかからない
- アプリが速く開発できる

デメリット

- 複雑なことをやりたい時に、実現が難しい場合がある
 - シンプルな機能で簡単に開発できる反面、定型的なことしかできない場合が多く、コードを書いてアプリを作る場合と比べて、実現できることが限られます。(複数のツールを組み合わせたりすることで、解決できる場合もあります)
- 使用するノーコード開発ツールに依存することになる
 - 使用するツールによって、デザインや機能などに制約を持つことになります。またツールのサービスが終了すれば、開発したものが使用できなくなる恐れがあります。

なぜノーコード開発をするのか

- 期間やコストをかけずに実際にユーザーが操作することのできるプロトタイプを開発できるため、サービスのアイデアを素早く手軽に検証することができるから
- プログラミング言語でコードを書く従来のアプリ開発(スクラッチ開発)と比較して、行き詰まるポイントが少なく、楽しく開発できるから 😊

ノーコード開発ツールにはどのようなものがあるか

先ほど「ノーコード開発を行うためのツールは数多く提供されています」と言いましたが、どのくらいあるかというと...

一般社団法人NoCoders Japan協会作成のノーコード・カオスマップには150以上(多分)のツールが掲載されていました。

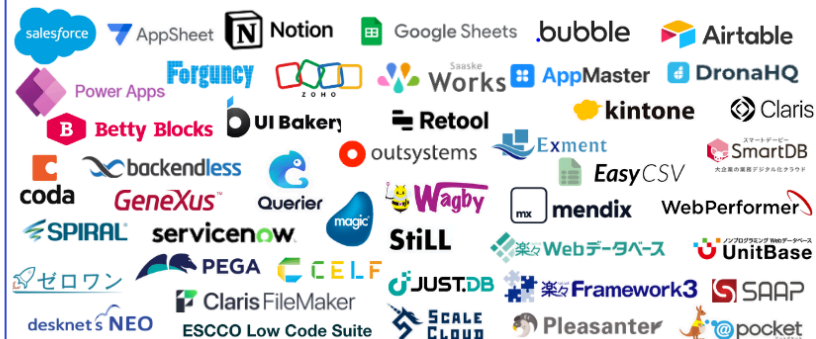
ノーコード・カオスマップ一覧 (2024年11月版)

・本カオスマップは、当協会が独自に作成しており、サービスの網羅性や正確性を完全に担保するものではありません。
 ・商標及びロゴマークに関する権利は、個々の権利の所有者に帰属します。
 ・掲載に関するお問い合わせや、次回更新時に掲載を希望する場合は、下記までご連絡ください。
 連絡先: info@no-coders-japan.org



NoCoders JAPAN
Association

ビジネスアプリ



モバイルアプリメイン



顧客管理

チャットボット



フォーム



Webサイト



VR/AR/3D

3D



AR



モバイルアプリ



EC



業務自動化



テスト自動化



人材支援・マッチング



IoT



協会



これだけたくさんのツールがあると、どれを選べば良いのか迷ってしまうと思います。選び方のポイントとして、ノーコード開発ツールによって作りやすいものが異なるため、「作りたいものが何か」から考えることをおすすめします。

作りたいものの例としては、以下のようなものが挙げられます。

- モバイルアプリ
- Webアプリ
- Webサイト
- ECサイト
- 業務効率化ツール

Programming Boot Campで扱うノーコード開発ツールの紹介

Programming Boot Campでは、Bubble というツールを使って学んでいきます

それでは早速 Bubble のレクチャーに入っていきますよー 🔥